

# 第9回草加市都市計画マスタープラン外部検討委員会

## 会議録

1 日 時 令和7年10月31日（金）午後2時00分から午後3時30分まで

2 場 所 草加市役所本庁舎7階会議室7A（ウェブ会議方式併用）

3 出 席 者 【委 員】9名

(会 場) 8名

小泉委員、榎本委員、岡村委員、後藤委員、豊田委員、塙間委員、村上委員、宮地委員

(Web会議) 1名

廣井委員

【事務局】6名

(都市整備部 都市計画課) 馬場課長、牛島課長補佐（兼）係長、手島主事、長島主事、綱河主事

(総合政策部 総合政策課 公民連携室) 岡崎主事

4 会議次第 (1) 開 会

(2) 議 事 都市計画マスタープラン中間見直しについて

・素案の修正について

・第2章 地区別方針（市街化調整区域）について

(3) その他の事項

(4) 閉 会

5 公開・非公開の別 公開

6 傍聴者数 1名

7 会議概要 都市計画マスタープランの素案の修正箇所及び第2章 地区別方針（市街化調整区域）の方向性について説明し、意見聴取をした。

8 会議内容

発言者	発 言 内 容
事務局	それでは定刻になりましたので、ただいまから第9回草加市都市計画マスタープラン外部検討委員会を開催します。 委員会開催に先立ちまして、都市計画課長の馬場よりご挨拶申し上げます。
事務局	【都市計画課長挨拶】
委員長	今回の署名委員は塙間委員と村上委員にお願いします。 また、本日1名の傍聴人がいらっしゃいます。
事務局	【説明】素案の修正について
委員長	会議資料2 No.4について、自動運転等の新しいモビリティは考慮されているのでしょうか。自動運転の技術が進み、実際に導入している自治体が急激に増加しています。ドライバー不足の課題も顕著なので、特に地方圏での導入が非常に進んでいるという実態を踏まえると、草加市も例外でないと思います。
事務局	自動運転等について、現行計画では具体的に記載しておりませんので、ご意見を踏まえて追記したいと思います。
委員	新しい移動手段については、例えばスクーター等は相当普及しており、賃貸住宅にスクーター

	を停車できるスペースがないと若い人からの需要が減り家賃が少し下がるという研究結果も出ています。新しいモビリティは今後どの程度普及するか分かりませんが、一定の利用者がいることを考えると、新しいモビリティをどのような移動手段として位置づけるのかという検討課題があることを示した方が良いと思います。
事務局	本市の地域公共交通計画では、公共交通機関がない、もしくは利用が困難な地域である交通不便地域内の移動を補完するものとして、シェアサイクル等の新しい移動手段を位置づけていますので、新しい移動手段に関することとして、都市計画マスタープランにも記載したいと思います。
委員	説明では第1章の外水氾らんと内水氾らんの対策を統合するとありました。当日資料2 9ページでは「外水氾らんに備えて、避難情報などの緊急情報、浸水想定区域、避難所ルートなどの周知を行う」との内容となっていますが、外水氾らんに限定していいのでしょうか。また、河川氾らんに限定していいのか、避難所ルートは避難所の所在か、もしくは避難所への移動ルートの周知かを明確にした方がいいのと思います。さらに、草加市では原則垂直避難を推奨しているので避難所へのルートの周知よりも、自宅で長時間待機するための備蓄物資の用意を促すことが重要だと思います。
事務局	一点目の第3章の記載を外水氾らんに限定していることは見落としてしまったので、修正いたします。二点目の在宅避難における備蓄物資の用意についても、ハザードマップでは用意を促しているので、危機管理部局と調整して追記したいと思います。
委員長	会議資料2 3ページのNo.9について、事業所のZEB化を促進すると記載ありますが、公共施設は対象としないのでしょうか。
事務局	公共施設も事業所に含まれると考えていますので、そのことが伝わるように修正いたします。
委員長	同じくNo.10について、修正前は公営住宅に関する内容でしたが、修正後では「公共施設を中心」と書いてあります。対象を公営住宅に限らず公共施設等へ拡充したことでしょうか。
事務局	ご指摘のとおり、前回いただいたご意見につきましては公営住宅に限らず、公共施設全般に共通する内容であると思いましたので記載のとおり改めました。
委員	同じ項目について、地域住民が利用しやすいだけでなく、一緒に管理できるという視点や仕組みを追記すべきだと思いました。前回の委員会の意見はどのようにコミュニティを維持していくのかという趣旨だと思いましたので、その観点から管理の視点を含めた方が良いと思いました。また、先ほどの新しいモビリティに関する内容で、韓国のソウルでは多くのスクーターが利用されています。地下鉄にスクーターを持ち込むこともできるなど日常生活の中に普及しているため、駐車スペースや通学における課題や、バイクよりは小型であるモビリティに関するルールづくりなどの必要性が生じると思いました。
事務局	【説明】第2章 地区別方針（市街化調整区域）について
委員	調整区域内の水害のリスクがある地区について、本日の資料では言及されていませんが、現状どのように考えていますか。
事務局	会議資料1 13ページの「安全を前提とした」という記載に災害を含めて考えています。実際に令和5年の台風2号では調整区域の南部等で浸水が発生していますので、今後の具体的なまちづくりを考えていく上では、浸水をはじめとした災害を考慮し具体的に考えていきたいと思い

	ます。また、災害と自然環境は密接に関連があると思いますので、グリーンインフラ等の自然の持つ力を活用することを念頭に置いて検討していきたいと思います。
委員	段階的な避難をすることができるまちや宅地の盛り土など考えられますので、検討をよろしくお願いします。
委員長	災害は会議資料1 7ページの脅威の中に含めるべき内容だと思います。
委員	会議資料1 8ページの多彩な資源の中に柿木田んぼが記載されていますが、農業者が耕作して初めて資源となるものであるため、八条用水やそうか公園と同様に考えていいものなのかなと思います。同ページのグラフからも分かるように、調整区域では特に田の減少が著しく、今年は少し米価が上がり耕作されている田も多いですが、昨年は耕作しているのか判明しない田が多くありました。柿木町で耕作している人は3人ぐらいしかおらず、ほとんどは市外の大規模農家に依頼しております。そのため、一番の問題はいつまで依頼できるか分からないという状況です。田の課題と既存集落の課題は個別のものだと思うので、別々に考えるべきです。東埼玉道路の東西をつなぐ意義が良く分かりません。
委員長	会議資料1 6ページでは、機会に東埼玉道路が挙げられていますが、私は脅威に該当すると思います。資料によると有効幅員が43mもあるので、地域が東埼玉道路を中心として東西に分断されてしまうと思います。既存集落の住民は、そうか公園などの地域施設は簡単に行くことのできなくなる可能性があるため、東西をどうつなぐのかが重要だと思います。既存集落の住民を見捨てることはできないので、草加市の市街地や越谷レイクタウン駅とどうつなぐのかを考えるべきであり、本来はきちんと費用をかけて検討すべきものだと思います。
委員	柿木町の最寄りは越谷レイクタウン駅なのでしょうか。
事務局	そうです。現状越谷レイクタウン駅までの公共バスはなく、地域からも要望はいたいでいるものの実現していない状況です。
委員	越谷レイクタウンへバスは地元からは要望していますが、なかなか実現しません。行政が違うという事情も関係していると思います。
委員長	生活環境上、地域間アクセスの課題は重要なテーマだと思います。既存集落から地域資源であるそうか公園への東西のアクセスや越谷レイクタウンへの南北のアクセスなどを確保できなければ、子育て世帯が住まない地域になってしまいます。子育て世帯が住み続けなければ、地域へどのような機能を設置したとしても、一時的に金銭収入はあるかもしれません、長期的に見ると地域が衰退してしまうと思います。
委員	GTP（グリーンパークタウン）というアイディアは素晴らしいと思いますが、みどりを重視し強調している地域でも、みどりを管理できなくなってきたという状況が多いと思います。主に田の管理ができなくなり、最終的には売却もしくは雑草が繁茂し周辺へ影響を及ぼすことが散見されます。みどりを管理していくことについて、どのように考えているのでしょうか。
事務局	ご意見のとおり、農地の確保を強調する一方で誰がどのように管理をするのかということが非常に重要だと考えています。現状具体的に決まってはおりませんが、市や所有者による管理にも限界はあると思いますので、みどりの重要性を認識している民間企業との連携によるみどりの保全や管理を視野に入れて検討したいと考えています。

委員	田を管理することができる企業と連携できれば良いのですが、企業が考えるみどりと市が考えるみどりには若干ずれがあると思います。最終的には、地区計画を策定するのでしょうか。
事務局	現時点では想定しておりませんが、調整区域のまちづくりの方向性を固めたのち、実現の手法は今後検討していきたいと考えております。
委員長	柿木・青柳エリアグランドデザインはいつ公表しますか。
事務局	年内の公表を目指していますが、進捗によっては時期が変更する可能性もあります。
委員長	この柿木・青柳エリアグランドデザインは地域の方、会場に来た関係者等の意見がよく反映されていると思います。本委員会でもグランドデザインを共有し、その内容を踏まえてどのような方向性とするのかを検討していくべきだと思います。
委員	みどりの保全は相当の費用もかかることなので簡単ではないと思います。剪定も例年必要で植木屋さんに依頼するなどの手間もかかり、また雑草の処理も発生します。言葉で言うのは簡単ですが、市にそれだけの対応ができるか疑問です。
副委員長	調整区域には外国人による中古車の販売所が多いと感じています。また、柿木町についての課題は草加市だけではないと思います。先ほどのバスの件も越谷市が関係することになるので、周囲の自治体と共に検討すべきだと思います。
委員	GPT（グリーンパークタウン）について、他の自治体との連携は全くないという印象を受けました。会議では市外の方も参加していたと聞きましたが、連携していくという方向性ではないと感じました。また、先ほどの説明にあった民間企業にみどりを残してもらうというのは非常に大変だと思います。私の家にけやきの木が残っており、おそらく市内に他にないような規模の樹木だと思いますが、維持し残すのは大変だというのが率直な感想です。このほかにも越谷レイクタウンでも商業施設と同規模の貯水池を作るなどの対応をしているので、草加にみどりを残すためには同規模のものを整備するなどの相応の対応が必要だと思います。そのような対策しないと、既存集落に居住せず、やはり駅前などの利便性のいい場所を選び続けると思います。 さらに、今後モビリティも次々と変わることが想定され、そうか公園と越谷レイクタウン駅は約2キロの距離間だと思うので、越谷レイクタウンとそうか公園それから中川を一体とした、まちづくりを考えるべきだと思います。海外の都市でモビリティのあり方も変わってきており、道路も歩道、自転車道、車道が整備されているので、このような整備の可能性はまだあると思っています。
委員長	この機会を逃すと、道路が地域の負の遺産になってしまうので、断面構成や作り方とともに含めて検討してほしいと思います。検討を進めることで、新しいモビリティを試すなどの社会実験ができる場所になる可能性もあり、そのような価値があれば企業が様々投資をしてくれる可能性もあるので、これらも考慮して検討してほしいと思います。
委員長	他にご意見なければ、本日の議事について終了します。
事務局	【その他】次回の委員会の日程調整、請求書の送付について
委員長	それでは、これをもちまして、本日の議題はすべて終了しましたので、事務局へお返します。
事務局	以上をもちまして、第9回草加市都市計画マスタープラン外部検討委員会を閉会します。 お忙しい中、ご参加ありがとうございました。